

親子聖書日課

[日]安息日は、主を礼拝するために働いてはならないと、沢山の規定がありました。が、主はいけにえよりも、憐れみを求める、「安息日の主」だと言われました。日曜日は、自分のためにあるのではなく、主を礼拝し、隣人を愛するためにあるのです。

[月]「傷ついた葦」「くすぶる灯心」は、役に立ちません。しかし、主は傷ついた葦を労わり、くすぶる灯心を燃やされるのです。この二つは、私達の心そのものです。一人で悩まないで、主の下に行きましょう。主の霊によって、心が燃やされます。

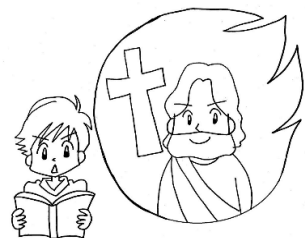
[火]しるしを見たら信じますという人がいますが、それは信仰ではありません。信仰とは、見ずして信じることです。主にはできないことはないと思っていて従うなら、しるしは伴います。しるしではなく、御言葉を求めて、その御言葉が成ると信じましょう。

[水]問題は、種を蒔く人ではなく、蒔かれた土地です。「道端、石地、茨」によい福音の種が蒔かれても、実を結びません。よい土地とは、「御言葉を聞いて悟る人」で、聞くだけではなく、理解し、信頼し、従う人です。御言葉に聴き従う人は、祝されます。

[木]毒麦は、最初は小麦と区別が付きません。つまり教会の中には、見せかけの信者と本物の信者が混じっているのです。ですから、お互いに気をつけましょう。神は世の終わりの時、彼らを裁かれますから、自分の感情で裁いてはいけません。

[金]主は譬えで、御国は全てのものを犠牲にしても手に入れるに値するもので、一端、手に入ると、全てのことを正しく判断できると教えました。御国の事を学んだ弟子達は、律法学者よりも優れた人になりました。私達も「わかりました」と答えたい。

[土]「あなた方が彼らに食べ物を与えなさい」と主が命じられた時、私達も「これしかない」と否定的に答えませんか。しかし、主は私達の持っている僅かなものを用いて、大きな御業をなされます。今あるものを主の下へ持って行きましょう。



NO.1936 2025.11/2-8

名前

	聖書	問題	答え
日	マタイ 12:1-14	主が求めるのは、何であって、いけにえではありませんか。	
月	12:15-32	正義を勝利に導くまで主は傷ついた葦を折らず、何を消しませんか。	
火	12:33-50	よこしまで神に背いた時代の者たちは何を欲しがりますか。	
水	13:1-23	良い土地に蒔かれた者とは、御言葉を聞いてどうする人ですか。	
木	13:24-43	人々が眠っている間に敵が来て、麦の中に何を蒔いて行きましたか。	
金	13:44-58	天の国は、商人が何を探しているようなものですか。	
土	14:1-21	弟子たちは何と何を主のもとに持って行きましたか。	
感想と祈りの課題			